

NO. 397
2022.8・9

CENTER NEWS



目 次

この10年を振り返って	田村 泰志……………	1
7・8月定例理事会	……………	3
2022年度センター見学会開催報告	金津 正子……………	4
2022年度土質試験見学会に参加して	市原 龍……………	5
「第57回地盤工学研究発表会」発表報告	松川 尚史……………	6
2021年度顧客満足度アンケート調査結果	中山 義久……………	7
令和4年度(第23回)大阪府都市整備部 優良建設工事等 部長表彰	……………	8
令和4年度 東部流域下水道事務所 優良建設工事等 所長表彰	……………	9
委員の独り言	高柳 昂……………	12
編集後記	中谷 英之……………	12

表紙写真 大募集！

センターニュースの表紙にあなたの撮った写真を載せませんか？
写真とその表紙の説明（撮影した状況やその物の説明、言いたい事など
なんでも構いません）を付けてinfo@ks-dositu.or.jpにお送り下さい。
採用された方にはちょっとしたお礼もごぞいます。
皆様のご投稿をお待ちしております。

表紙説明

写真は京阪本線「萱島」駅の下り線・大阪方面ホーム中央に聳え立つ、「萱島の大クスノキ」
として親しまれてきた。高さが約20m、幹回り約7mの巨木で、樹齢は700年と言われている。
高度経済成長期の高架複々線化工事に伴う新駅建設のさい、萱島神社の御神木であるクスノキ
を伐採する予定であったが、地元の要望を受け全国でも珍しい形を呈するようになった。

（写真・文責：荒谷 賢一）



この 10 年を振り返って

株式会社ダイヤコンサルタント

関西支社長 田村 泰志

私が CENTER NEWS に登場するのは 2 回目になります。前は 10 年前、2012.10 号の技術者紹介コーナーでした。当時の“アラフィフ”が、今や“アラ環”、約 37 年建設（地質調査）業界に奉公しております。そこで、この 10 年を振り返るとともに、今後の業界の役割や方向性について考えてみたいと思います。

10 年前、多くの技術者が東北に集まり東日本大震災の復興に取り組んでいました。その後、2013 年伊豆大島土石流災害、2014 年広島土砂災害、御嶽山噴火、2016 年熊本～大分に大きな被害をもたらした熊本地震、2017 年九州北部豪雨、2018 年は大阪北部地震に始まり、7 月豪雨、台風 21 号による関西国際空港の被害、北海道胆振東部地震等、立て続けに災害が発生し、関西も大きな被害に見舞われました。2019 年は九州北部豪雨と関東～東北を中心とした台風被害、2020 年と 2021 年の集中豪雨は全国的に大きな被害をもたらしました。また、2021 年と 2022 年は福島県沖で地震が発生しています。地球温暖化との関係が取りざたされている豪雨（台風）による洪水・土砂災害が毎年どこかで発生し、大きな地震も度々発生しています。当然のことながら、これらの災害に対して、我々の業界は全国の専門技術者が支援体制を整え、復興・復旧に大きく貢献してきました。

一方、国土強靱化、施設の老朽化問題を背景に公共事業は増加傾向で推移し、その事業計画の中で地質リスク評価の重要性が認識され、特に、調査（試験）不足に起因する事業費の増大や安全管理面の問題がクローズアップされ、地質調査業の役割（重み付け）は大きくなってきました。その反面、技術者の極端な高齢化の進行、継続的な人手不足から業務過多、過重労働問題の深刻度も増しています。働き方改革、業務の効率化を進めていく中で、デジタル化、ドローンや 3 次元データの活用、それらの連携、統合、活用によるデジタルトランスフォーメーション（デジタル変革：DX）の推進等、生産性向上に向けた施策の活用・推進が急務ですが、我々の業界は陸上部隊（アナログ）のイメージが強く、他の業界と比べるとこれらの波に乗り遅れてきたように思われます。

今後も我々の業界の役割や方向性は従来と大きく変わることはないと思っています。しかし、その重要度（重み付け）は加速的に大きくなっていくと考えます。世界規模での気候変動に伴う豪雨・台風等の災害は今まで以上に発生頻度や規模が高く、大きくなり、頻発する地震は、南海トラフ、首都直下型等の巨大地震の発生確率が高くなってきます。脆弱な地質構造をもつ我が国で、国民の安全で安心な暮らしや社会基盤を守るための公共事業（インフラ整備）を計画的、安全重視で進めていくためには、地盤の適切な評価、地質リスク解明等、我々の業界の仕事・役割は非常に重要であると言えます。これらの役割を的確に遂行・対応していくためには、専門技術者としての実力と自覚を備えた専門家集団でありつつ、積極的に新しい技術や考え方を取り入れ、健全で明るく楽しい職場環境に改善し、若者にとって魅力のある業界づくりを推進していくことが重要です。私も微力ではありますが、あと5年、いや10年？業界の明るい未来に対して、少しでも貢献できるよう研鑽していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。



7月理事会は資料をメールで送付の上、持ち回り開催とした。
令和4年7月22日に全理事に資料を送付し、令和4年7月27日までに意見を回収した。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告
6月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 6月分事業報告の件

令和4年8月29日（月）15時00分より、WEBにて理事10名が出席して開催した。
定款の定めにより、寺西理事長が議長に就任し議事進行を行った。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告
7月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 7月分事業報告の件
- 3) 令和4年度1/3期実績報告の件
- 4) 組合職員採用について（令和5年3月卒）
- 5) 動的三軸試験機（テスコ製）納品報告
- 6) 藤村職員の休職について
- 7) ものづくり補助金フォローアップ監査実施について
- 8) 大阪府中小企業団体中央会「第64回中小企業団体大阪大会」表彰推薦者の件

【審議事項】

- 1) 次期役員（理事・監事）について
- 2) その他の件

2022 年度センター見学会開催報告

地盤技術室

金津 正子

教育・技術小委員会は活動の一つとして若手技術者室内試験体験会とセンター見学会の企画・運営を行っております。2020 年と 2021 年は、コロナウイルス感染症拡大のため中止せざるを得ない状況でした。

2022 年度は 4 月と 5 月の若手技術者室内試験体験会に引き続き、センター見学会（6 月 16 日（火）13：00～17：00）を無事開催することができましたので、報告いたします。

本見学会の感染対策としては、少人数制（今回の参加者：14 名）、土質試験の見学のみ、土質試験の体験会は中止といたしました。

センター見学会の目的の一つとして、組合員はもとより一般の方々にも、広くセンターを知っていただく事です。残念なことに、今年度はコロナ禍の関係もあり一般の方の参加はありませんでした。

当日は午後からのみという短い時間にもかかわらず、参加者の皆さんは熱心に説明を聞いてくださいました。体験会はしないということでしたが、説明するときに土試料に触ってもらうと、よく理解でき、喜んでいただいたことが印象的でした。見学会後のアンケートでは、ほぼ全員から満足の回答をいただきました。

来年度の開催に向け、委員会内でアンケート結果を吟味し、より充実した見学会開催の企画・運営を検討していきますので、ご期待ください。



換気抜群の屋外での試料観察（今回のみです）



物理試験見学の様子

2022 年度土質試験見学会に参加して

株式会社キンキ地質センター

市原 龍



2022 年 6 月 16 日に、関西地盤環境研究センターで開催された土質試験見学会に参加させていただきました。私は、大学時代、プランクトンや魚類などの水圏生態系並びに溶存酸素や窒素・リンなどの水質に関わる部分を中心として、主に地球環境や生態系に関する、土質とは全く異なる分野を専攻していました。そのため、今回のセンター見学会は、私にとって、新たな知識や経験を得る事の出来るとても貴重な機会でした。見学会は、参加者 15 名を 3 班に分けることで、一箇所に極力人が密集しないよう十分に配慮される形で進んでいきました。

見学会のスケジュールは、最初に参加者全員で試料の観察から抜き出しまでを見学した後、それぞれの班に分かれて物理試験、力学試験、材料試験、岩石試験、圧密試験、動的試験等の主要な試験を見学しました。力学試験の一軸圧縮試験や三軸圧縮試験、物理試験の粒度試験や液性・塑性限界試験、岩石試験ではダミー試料を用いて実際の試験の流れを目の前で再現していただいたことで、試験中の試料の変化や全体の流れを体感することが出来ました。一方で圧密試験や動的試験などの 1 つの試験にかかる時間が非常に長いものについては、見学の際に行われていた試験の様子を観察しながら使用している機材の特徴や試験結果の見方などを解説していただきました。見学会は、午後からの半日で行われましたが、本当にあっという間に時間が過ぎてしまった印象でした。見学会では、初めて見る物や経験することがいっぱい、時間があればもっと色々なことを知りたい、聞きたいとしばしば思いました。

今回の見学会の中で、より正確な試験データを得るためには、準備段階における試料の状態を、どれだけ揃えることが出来るのかが重要になってくのだと実感しました。普段の生活の中では目に見えない部分であるからこそ、こうして実際の現場を目の当たりにしたことで、より強く印象に残ったのだと感じます。最後となりますが、センターの皆様にはご多忙の中、貴重な見学会を開いてくださったことに、改めて深く感謝致します。



試料の抜き出し（※）

（※）今回、密を避けるため
屋外で実施しました。

「第 57 回地盤工学研究発表会」 発表報告

センター長 松川 尚史

7月20～22日にかけて公益社団法人地盤工学会主催の地盤工学研究発表会が開催されました。今回の発表はコロナ禍ということもあり、現地発表及びオンラインによる発表のハイブリッド形式で行われました。センターからは服部職員、三好職員の2名がオンラインで発表を行いましたので、ここに報告いたします。

《服部職員》

「2021年度の技能試験の概要(配布資料の均質性・付与値の妥当性及び試験結果の正規性)」

地盤工学会主催で毎年実施されている“地盤材料試験に関する技能試験”のZスコアによる技能評価の妥当性について、2021年度の技能試験結果に基づき検討した結果の発表でした。土質試験の様な結果として真値のないものを評価する難しさを感じさせる発表でした。

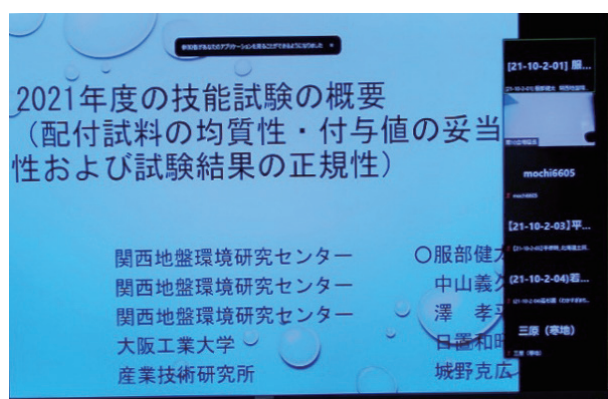
《三好職員》

「粒度試験（沈降分析）における浮ひょう読み取りの自動化への試み（その3）」

題目の通り、粒度試験（沈降分析）の浮ひょう読みを自動化しようという試みについての発表でありました。土質試験では人力で行う手作業が多いのが現状であり、特に物理試験では、それらが顕著であります。本発表は、試験精度としてのヒューマンエラーの軽減を目的にしているだけではなく、“作業者の負担軽減”“労働時間の短縮”という観点からも沈降分析の自動化を進めたいという思いで行っているものです。

今回はオンラインでの発表ということもあり、通信トラブル等に見舞われる場面もあり、少しヒヤヒヤしましたが、2名とも無事に発表を終えることが出来ました。

今後も、“センターとして”“土質試験の専門機関として”の発信を継続していきたいと考えています。



発表状況《服部》



発表状況《三好》

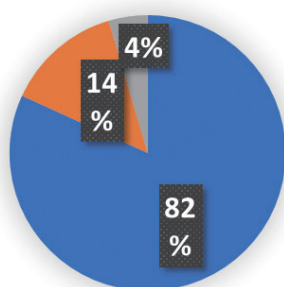
2021 年度顧客満足度アンケート調査結果

専務理事 中山 義久

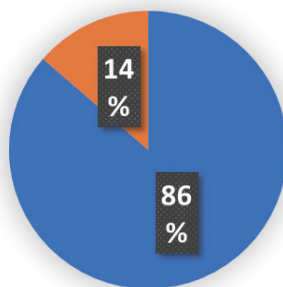
令和4年5月にお願いした「センター顧客満足度アンケート調査」につきましてご回答いただき、誠にありがとうございます。（回答数＝22 組合員）

以下に結果、現況と対策を取り纏め、職員一同、よりよいセンターを目指します。

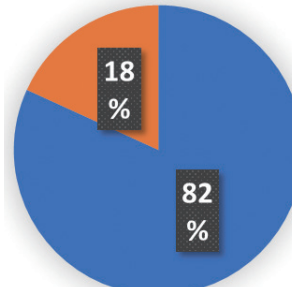
1. 全般



2. 打合せ対応



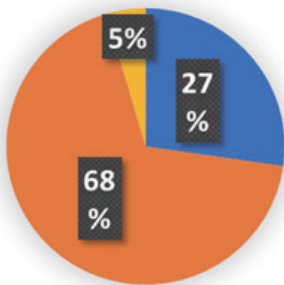
3. 搬入～納品の期間



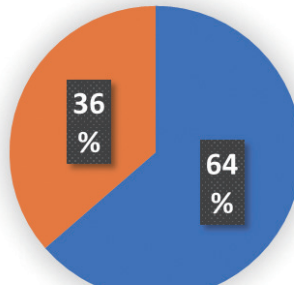
設問 1～5

■ 満足
■ 特になし
■ 不満足
■ その他

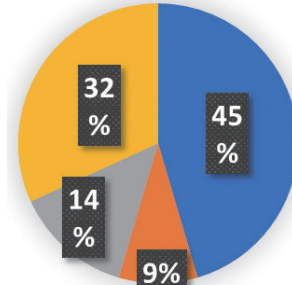
4. 特殊試験問合せ対応



5. 納品後対応



6. その他



設問 6

■ 感謝
■ 要望(技術的)
■ 不満足(対応)
■ 回答なし

現況と対応

1. 全般、2. 打合せ対応、3. 搬入～納品の期間

上記の3の項目について、80%以上の「満足」を頂きました。

「1. 全般」に不満足が4%あり、内容の確認と最大限の対応を行います。

4. 特殊試験問合せ対応

「満足」が27%と低調で、「特になし」も68%と比較的多く、「満足」の回答数が増えるよう、問合わせ内容の集計とその準備を今以上に進めます。

5. 納品後対応

満足が64%とやや低調。今以上のポイント獲得を目指します。

納品後対応の内容の精査と納品までに出来ることの充実を図ります。

6. その他（文書で頂いたもの）

- ・ 感謝のお言葉（45%）、有難いことです。励みになります。
- ・ 試験結果と試料バラツキの影響を知りたい（試験者目線でのコメントが欲しい）
- ・ 一般値と異なった場合の対応が欲しい（速報値・納品時のコメントが欲しい）
- ・ 試料管理・守秘対策の充実を望む
- ・ 顧客に対する電話対応の改善提案

令和4年度(第23回)大阪府都市整備部 優良建設工事等 部長表彰



(写真提供：ソイルシステム様)

令和4年度 東部流域下水道事務所 優良建設工事等 所長表彰

東部流域下水道事務所が発注した建設工事及び測量・建設コンサルタント等の業務のうち、優秀な成績で完成した受注者に対し、令和4年8月1日（月）に、所長表彰を行いました。

【委託表彰】

委託名称：寝屋川流域下水道 四條畷増補幹線 土質調査委託（R3 - 4）

履行期間：令和3年11月25日 から 令和4年2月28日

受注者：株式会社アテック吉村



関係者集合写真

【委託表彰】

委託名称：寝屋川流域下水道 川俣ポンプ場 ポンプ場施設土質調査委託（R2 - 1）

履行期間：令和3年1月6日 から 令和3年5月31日

受注者：株式会社KGS



関係者集合写真

【委託表彰】

委託名称：寝屋川流域下水道 枚岡河内中央増補幹線 土質調査委託（R 3 - 1）

履行期間：令和3年7月6日 から 令和4年1月31日

受 注 者：株式会社東京ソイルリサーチ 関西支店



関係者集合写真

【委託表彰】

委託名称：寝屋川流域下水道 門真寝屋川（二）増補幹線外 土質調査委託（R 2 - 5）

履行期間：令和2年11月18日 から 令和3年8月31日

受 注 者：株式会社ヨコタテック



関係者集合写真

【委託表彰】

委託名称：寝屋川流域下水道 萱島直送幹線 土質調査委託（R3 - 1）

履行期間：令和3年9月24日から令和4年2月28日

受注者：アーステクノ株式会社



関係者集合写真

【委託表彰】

委託名称：寝屋川流域下水道 四條畷増補幹線 土質調査委託（R3 - 3）

履行期間：令和3年7月8日から令和4年2月28日

受注者：新大阪地質株式会社



関係者集合写真

※新型コロナウイルス感染対策のため、表彰式の写真撮影時以外は、全員マスクを着用しております。

（出典：大阪府 HP）

委員の独り言

まだまだコロナウイルスが蔓延している中、皆様はどのようなお盆を過ごされましたでしょうか。私は自主的に行動制限をし、ずっと家にいました。飲み会も何もない実につまらない休みです。しかしそんな私にも唯一の楽しみがありました。それは愛猫と遊ぶことです。

どれだけ新しいおもちゃを買い与えても、古くからあるピンク色のネズミ（通称：旧ネズ）が一番のお気に入りなところが非常に愛おしい猫です。

こんなにも愛らしい我が家の猫をたくさんの方に知ってほしいとペット専用のSNSのアカウントを作成し、日々投稿をしています。

ですがなかなかフォロワーが増えません。ただ可愛い写真を掲載しているだけ



ではどうやらだめみたいです。更新頻度や写真につける文章など工夫すべき点がまだまだあるようです。

妻からはそんなことよりも写真の選定が悪いと言われます。どうでしょうか。私としては最高にかわいい瞬間です。

（株式会社キンキ地質センター 高柳 昂）

編集後記

今年も暑さ厳しい中、3年ぶりの行動制限のない夏休みとなり、帰省やご旅行など、さまざまお出かけされた方も多いのではないのでしょうか。

さて、私、暑さにめっぽう弱く、引きこもりのお盆休みでしたが、気になるニュースが、ひとつ。

北海道長万部町の神社の敷地から“水柱”が噴出し、高さ30m近くまで自噴しているそうです。はっきりした原因は今のところわからないようですが、周辺ではその昔、天然ガスの採掘にボーリングを行なったとか…なんだろう、真夏に少し背筋が寒くなるニュースでした。

さて、センターニュースは、いろいろな企画を考え中。

組合員様のご紹介やコミュニケーションの場として、また、ちょっと役立つ情報を発信できればと考えております。センターニュースをご覧の方々からも、ぜひ、ご意見をいただければ幸いです。

（株式会社インテコ 中谷 英之）

組合員・賛助会員名簿

【組合員名簿】

(50 音順)

会 社 名	電話番号	会 社 名	電話番号
株式会社 アテック吉村	(072) 422-7032	株式会社 タニガキ建工	(073) 489-6200
株式会社 池田地質	(06) 6797-2280	株式会社 地域地盤環境研究所	(06) 6943-9705
株式会社 勇コンサルタンツ	(06) 6306-6907	株式会社 地圏総合コンサルタント 四国支店	(0897) 33-3123
株式会社 インテコ	(0742) 30-5655	中央開発 株式会社 関西支社	(06) 6386-3691
株式会社 エイト日本技術開発 関西支社	(06) 6397-3888	中央復建コンサルタンツ 株式会社	(06) 6160-1121
株式会社 オキコ コーポレーション	(06) 6881-1788	株式会社 東京ソイルリサーチ 関西支店	(06) 6384-5321
応用地質 株式会社 関西事務所	(06) 6885-6357	株式会社 東建ジオテック 大阪支店	(072) 265-2651
川崎地質 株式会社 西日本支社	(06) 7175-7700	東邦地水 株式会社 大阪支社	(06) 6353-7900
株式会社 関西土木技術センター	(075) 641-3015	土質コンサル 株式会社 大阪事務所	(072) 634-6373
株式会社 基礎建設コンサルタント	(088) 642-5330	株式会社 中堀ソイルコーナー	(06) 6384-9069
基礎地盤コンサルタンツ 株式会社 関西支社	(06) 4861-7000	株式会社 日さく 大阪支店	(06) 6318-0360
キタイ設計 株式会社	(0748) 46-2336	株式会社 日建設計	(06) 6203-2361
株式会社 キンキ地質センター	(075) 611-5281	株式会社 日本インシーク	(06) 6282-0310
株式会社 KGS	(072) 279-6770	日本基礎技術 株式会社 関西支店	(06) 6351-0562
株式会社 建設技術研究所 大阪本社	(06) 6206-5700	日本物理探査 株式会社 関西支店	(06) 6777-3517
興亜開発 株式会社 関西支店	(072) 250-3451	ハイテック 株式会社	(06) 6396-7571
株式会社 興陽ボーリング	(06) 6932-1590	株式会社 阪神コンサルタンツ	(0742) 36-0211
国際航業 株式会社 関西事業所	(06) 6487-1111	阪神測建 株式会社	(078) 360-8481
株式会社 国土地建	(0748) 63-0680	株式会社 ビュー設計	(088) 665-7360
サンコーコンサルタント 株式会社 大阪支店	(06) 6121-5011	復建調査設計 株式会社 大阪支社	(06) 6392-7200
有限会社 ジオ・ロジック	(072) 429-2623	双葉建設 株式会社	(0748) 86-2616
株式会社 白浜試錐	(0739) 42-4728	報国エンジニアリング 株式会社	(06) 6336-0228
株式会社 ソイルシステム	(06) 6976-7788	株式会社 メーサイ	(06) 6190-3371
株式会社 大同ソイル	(0745) 63-1850	明治コンサルタント 株式会社 大阪支店	(06) 7178-1659
株式会社 ダイヤコンサルタント 関西支社	(06) 6339-9141	株式会社 ヨコタテック	(06) 6877-2666

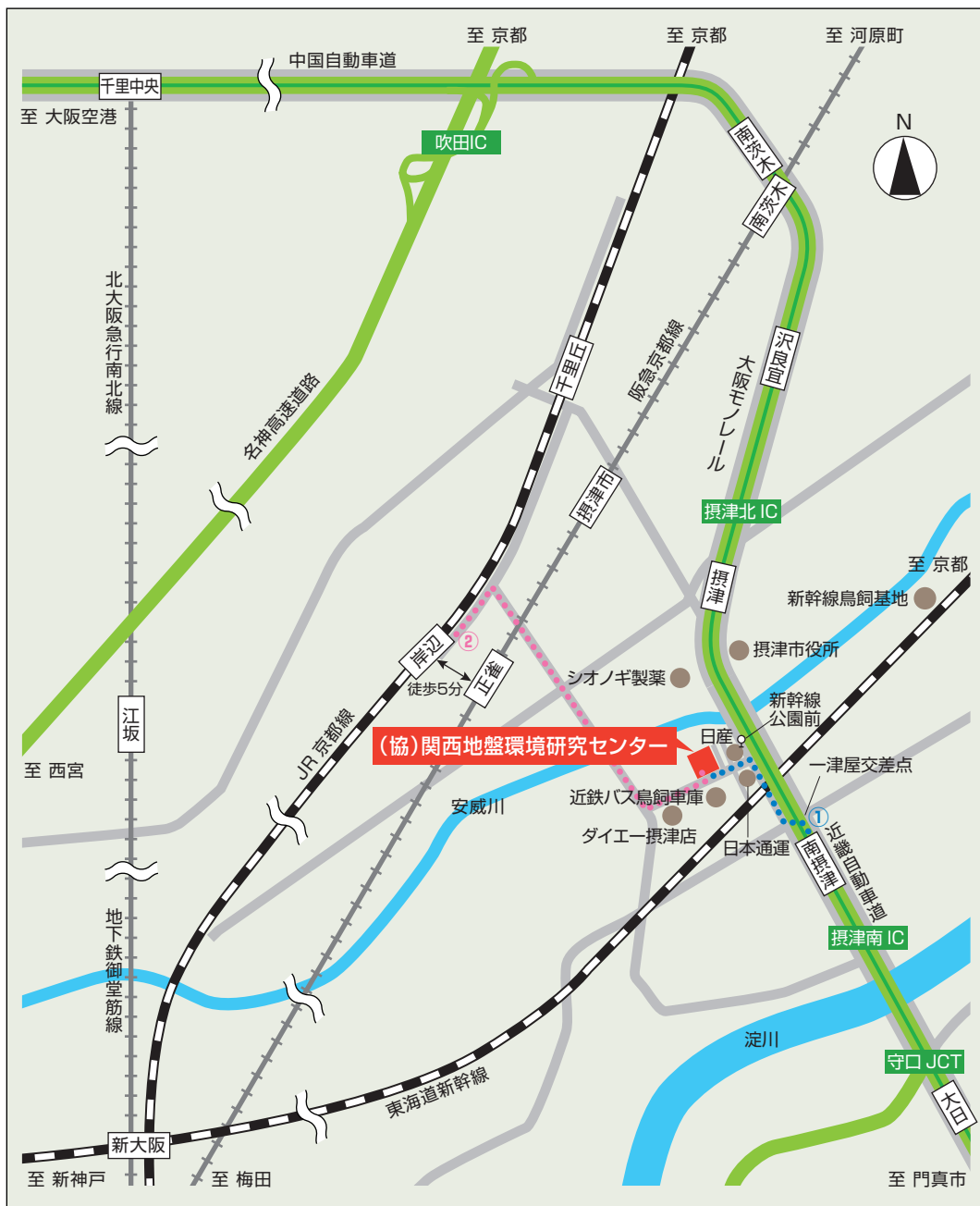
【賛助会員名簿】

会 社 名	電話番号	会 社 名	電話番号
株式会社 アサノ大成基礎エンジニアリング 関西支社	(06) 6456-1531	株式会社 総合技術コンサルタント	(075) 312-0653
株式会社 アーステック東洋	(075) 575-2233	株式会社 ソルブレイン	(06) 6981-3330
株式会社 JFDエンジニアリング	(06) 6531-3326	株式会社 兵庫コンサルタント	(0799) 28-1074
株式会社 創研技術	(088) 652-0077		

発 行 協同組合 関西地盤環境研究センター
〒566-0042 摂津市東別府1丁目3番3号
TEL 06-6827-8833 (代)
FAX 06-6829-2256
e-mail tech@ks-dositu.or.jp

編 集 広報小委員会
編集責任者 中山義久
印 刷 千里丘印刷

<https://www.ks-dositu.or.jp>



① 南摂津駅(大阪モノレール)より徒歩12分

② JR岸辺駅よりタクシーで約10分

新大阪駅より地下鉄御堂筋線に乗り千里中央駅でモノレールに接続、千里中央駅から南摂津駅まで21分

協同組合 関西地盤環境研究センター

〒566-0042 大阪府摂津市東別府1丁目3-3

TEL.06-6827-8833(代表)

FAX.06-6829-2256(地盤技術室)

<https://www.ks-dositu.or.jp>